

うおーみんぐ

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信

No.42 (秋)



「京都・新ストーブ友の会」の活動の様子（関連記事p.2,3）



ミスト装置のついた扇風機に集まる園児たち（関連記事p.4,5）



第2回推進員研修会での長岡第四小学校見学の様子（関連記事p.6）



c o n t e n t s

- 2・3 **特集 火のある暮らし**
吉田山の森林保全と新集めを
スポーツ感覚で楽しみながら行う
— 京都・新ストーブ友の会 —
- 4・5 **第6期 地球温暖化防止活動推進員**
府内各地で活躍中！ part5
京丹波町
環境出前授業のエキスパート！
舞鶴市
舞鶴・海フェスタで省エネタブレット診断と機器展示
城陽市
お日様とミスト（霧）の力で、夏の涼しさ体験
オリジナル紙芝居を使って、城陽市内保育園で出前講座を実施
- 6・7 **活動レポート**
先進事例を学び、地元での活動に活かそう！
-第2回京都府地球温暖化防止活動推進員研修会を開催しました-
省エネ相談所 参加者303名！
-SKYふれあいフェスティバル-
ご利用ください！ イベント啓発グッズエコすぐろく
京都府でHEMS機器を設置して省エネする人応援します。
- 8 **お知らせ**
カエデの紅葉日はいつ？みんなで調査しよう！
参加者募集 秋の雲ヶ畑で広葉樹の森林整備と新づくり体験



京都府地球温暖化防止活動推進センター
Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。



吉田山の森林保全と薪集めを スポーツ感覚で楽しみながら行う — 京都・薪ストーブ友の会 —

薪やペレットなどの木質バイオマスエネルギーは、森林の生長とバランスのとれた利用をする限りでは持続可能な資源であり、燃焼により発生した二酸化炭素は、樹木の生長により吸収されることからカーボンニュートラルだと言われています。このため、地球温暖化防止の視点から国産の木質バイオマスの利用に注目が集まっています。

今回、国産の木質バイオマス利用の事例として、京都市内の薪ストーブユーザーが設立した「京都・薪ストーブ友の会」の活動をご紹介します。

設立の経緯

京都盆地の東に位置する東山は、人々が生活の燃料として薪や炭を利用していた数十年前まではアカマツと落葉広葉樹が優勢ないわゆる里山林でしたが、調理や給湯、暖房に化石燃料が使用されはじめた頃からは、“山に柴刈りに”行く人がいなくなったため、植生の遷移が進み、シイ・カシなどの常緑広葉樹がうっそうと生い茂る照葉樹林へと移り変わっています。薪ストーブ友の会が活動場所としている吉田山も、そんな東山の一角に位置しています。

人の手が入らずうっそうとした森林では、樹木は病害虫に侵されやすくなります。カシノナガキクイムシによるナラ枯れの被害が京都市街地ではじめて現れたのも東山でした。特に吉田山周辺では初期の頃から被害が確認されています。

このような背景のもと、吉田山では吉田神社とその近隣住民、有識者らでつくる森林保全団体が森林を整備し、森林内に光と風が入り1本1本の樹木が健康に育つ森づくりを行なっていました。この団体の活動では、伐採する木を決定し業者に依頼して伐採してもらっていましたが、伐採後の丸太はまとめてはあまるものの、林内に置いたままにしてありました。そこで、この団体の有識者の方と知り合いであった住吉氏が、林内の丸太の有効利用方法として薪ストーブユーザーが自分たちで薪を生産し持ち帰る仕組みを相談し、「京都・薪ストーブ友の会」が吉田山で活動することになりました。

会の概要

京都・薪ストーブ友の会は2011年に向日市ハリコ山のナラ枯れ材整備をきっかけに設立されました。現在正会員（薪ストーブユーザー）が約60名。賛助会員（薪ストーブ関連企業）が2社、サポーター会員（薪割り愛好者）が1名です。活動は基本的に月2回（第一土曜日と第三日曜日）。

活動拠点は吉田山一帯の吉田神社が所有する森です。この他にも森林整備の依頼（報酬として薪を持ち帰って良い）があれば、その場所に赴き活動を行なっておられます。

会の主たる目的は、(1)会員である薪ストーブユーザーが薪を安定的に生産・獲得すること及びそのためのフィールドを維持すること。(2)薪割りをスポーツあるいはレクリエーションとして楽しむこと（このためサポーター会員の参加も歓迎している）。(3)森林を整備し里山の保全をすること、となっています。



作業風景



1) 薪用に30~40cmに玉切り。2) 作業場に積み上げられた薪。3) 結束。4) DOS (どす) 券。5) 樹種は多様。6) 薪割り機での作業。

活動の内容

とある日の活動に参加させていただいたので紹介します。朝、吉田神社の境内に当日の参加者全員で集合し、まずは自己紹介。参加者は各々でチェーンソーやオノを持参しています。あいさつした後、会の備品であるエンジン式薪割り機、丸ノコ、チェーンソーなどを倉庫から持ち出し100mほど離れた作業場所まで徒歩で向かいます。

作業場所では参加者が手分けして森の中にある丸太を広場まで引っ張り出し、薪として利用する長さ(30~40cmほど)に切り、薪割り、結束、薪置き場までの運搬を行います。明確な役割分担はなく、各自の判断で好きな作業を行なっていました。

作業後には薪との引換券である「DOS (どす) 券」が参加者に発行されます。1DOSで薪2束と交換でき、1時間の作業参加で1DOSをもらうことができます。1回の活動が10時から16時までのおよそ5時間(昼休み除く)なので、参加者は一律に5DOS=10束の薪を活動の参加によりもらえることになります。DOSは当日その場で引き換えても良いですし、後日引き換えもできます。DOSの枚数以上に薪が必要な場合、会員であれば会でストックしている薪を格安で購入することができます。

代表の 住吉豊氏のコメント



薪ストーブの良さは色々ありますが、冬を前に自宅の薪置き場にたっぷり積まれた薪を見ると豊かな気分になり幸福感に包まれます。これは化石燃料を使用している頃にはありませんでした。

薪ストーブ友の会の目的のひとつは里山保全で、自身はそういった関心があって活動を行なっていますが、会員全員がそういった思いまでを持つ必要はないと思っています。気軽に子ども達も参加でき、アウトドアスポーツ感覚で楽しくかつ実益のある活動が、結果的に「里山環境保全」に繋がっている事が魅力です。

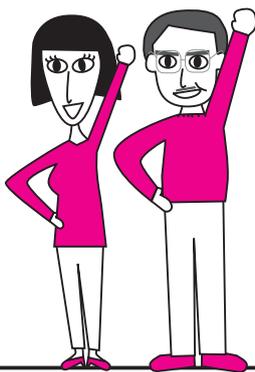
森林が明るくなったことで神社の人も「以前よりも鳥の声がよく聞こえる」と言っておられます。

森林を所有する側と木質バイオマスを利用する側の利害が一致した、このような取り組みが広がることで、木質バイオマスエネルギーの利用によるCO₂排出削減が進むことを期待します。

第6期

府地球温暖化防止活動推進員 市内各地で活躍中！

part5



環境出前授業のエキスパート！

京丹波町

今回ご紹介する推進員は田中良興さん。本業は高校の理科の先生ですが、週末を中心に理科の実験を取り入れたオリジナルの「環境出前授業」を各地で行なっています。

8月9日には京丹波町中央公民館で「地球温暖化を科学する」と題して開催された講座（主催：京丹波町女性の会）の講師を務められました。

授業は当日京都に接近中だった台風に関する時事ネタからはじまり、省エネに関するクイズあり、調べ学習あり、手品あり、最後にはちょっとしたおみやげ（紅葉前の緑色の葉と紅葉後の葉をラミネートし紅葉のメカニズムの解説を加えたシート）ありと聴講者を飽きさせない工夫がたくさんあり、2時間があっという間に過ぎました。

特に紅葉については、イチョウとカエデのメカニズムの違いをわかりやすく解説し

た上で「紅葉の時期がだんだん遅くなっていることは京都府内の経年調査でもはっきりわかります」と温暖化の話に結びつけるなど、面白い切り口からの話の展開に非常に勉強させていただきました。また、この日の出前授業には教え子の高校生がアシスタントとしていらしており、テキパキと授業の補助をされていました。出前授業の参加者だけでなく、アシスタントの高校生たちにとっても良い経験と学びの場であったと思います。

今回の出前授業は田中さんの活動の一端に過ぎません。環境カウンセラーや省エネルギー普及指導員、うちエコ診断士など環境問題やエネルギーに関する資格をいくつもお持ちで、この他にも多方面で幅広く活躍しておられ、当センターもいくつもの事業で連携・ご協力をいただいております。



▲家電製品の消費電力に関する調べ学習の様子。



▲紅葉のメカニズムを解説したラミネートシート（本物の葉っぱ入り）



▲出前授業の様子。使用されている指し棒は何もない空中に突如現れました（手品）

お日様とミスト（霧）の力で、夏の涼しさ体験 オリジナル紙芝居を使って、城陽市内保育園で出前講座を実施

城陽市



▲ミスト装置の下で遊ぶ園児たち（清心保育園）



▲ミスト装置がついた扇風機（青谷保育園）



▲紙芝居「ゴーヤンとアサガオちゃん」みんな熱心に聞いています（里の西保育園）

舞鶴・海フェスタで省エネタブレット診断と機器展示



毎年7月、国内の主要港湾都市で開催される「海フェスタ」。この夏は京都府北部の7市町を会場に開催されました。

舞鶴市の赤れんがパークでは、「まいづる環境市民会議」が、海と地球温暖化をテーマに展示コーナーを開設。重要文化財の赤れんが倉庫の中に、地球の海面水位の変化のグラフや、氷河の経年変化の写真などが、わかりやすく展示されました。

7月20日（土）の赤れんがパークは大にぎわい。そんな中、地元舞鶴市の推進員の皆さんが、イベント来場者に「省エネ診断」を実施しました。

当センターが開発したタブレット端末用の省エネ診断アプリは、クイズ形式で楽しめる構成になっています。推進員の説明を受けながら、参加者自身がタブレットを操作し、「うわっ、うち結構エネルギー使ってるなあ!」「シャワーってそんなにエネルギーを使うんや・・・」などと歓声が上がっていました。

また、同じブースでは、内窓・太陽熱温水器・エネファーム・ペレットストーブ・自転車など、創エネ・省エネ機器の実物展示も行われました。この展示は、



▲ 重要文化財の赤れんが倉庫で、海と地球温暖化の展示。



主に地元の住宅設備・エネルギー機器等の販売店の協力を得て実現したものです。

青い青い空と海、そして赤れんが倉庫の趣ある空間で、37名もの方に省エネ診断を体験していただき、推進員と参加者の交流が進みました。



◀ 推進員の皆さんが、省エネ診断を実施しました。



◀ ペレットストーブから自転車まで！エコ機器が勢ぞろいしました。

まだまだ暑さが残る9月2日、城陽市内の里の西保育園に、移動式ソーラー発電ミスト装置が現れました。「わーい、気持ちいい！涼しい!」、初めは恐る恐るミスト装置をくぐっていた園児たちが、次第に楽しそうにミスト装置の下で遊びます。さらに、扇風機の前は、我も我もと園児たちが集まってきました。それもそのはず、この扇風機にもミスト装置がついており、扇風機の風とミストで、とても涼しいのです。

これは、城陽環境パートナーシップ会議の循環・地球環境部会が行う環境出前講座のひとつ。紙芝居と体験メニューからなる30分ほどのプログラムを用意し、城陽市内の保育園をまわっています。この講座が

始まって今年で3年目、2014年夏は市内8つの保育園で実施しました。この日は、会長の大野和宣さんと副会長の芦原昇さん（両氏とも推進員）が園児たちの先生です。

園児たちに紙芝居「ゴーヤンとアサガオちゃん」を読むのは芦原さん。この紙芝居は城陽環境パートナーシップ会議のオリジナル紙芝居で、昨年度、会員がシナリオを書き、城陽高校美術部が絵を描き、協働で完成させた2作品のうちの一つです。高校生の皆さんは、絵だけではなく台詞についても積極的に提案してくれたそうです。そんな力作の紙芝居に、園児たちは真剣に耳を傾けていました。

2014/9/13、9/25

先進事例を学び、地元での活動に活かそう！ -第2回京都府地球温暖化防止活動推進員研修会を開催しました-

今年度第2回目の推進員研修を、長岡京市と京丹後市で行いました。今回の研修は、京都府内のユニークな取組事例を、座学だけでなく、現地見学し、地域の活動を「肌で感じてもらう」内容としました。

9月13日（土） 長岡京市研修



長岡京市立長岡第四小学校のランチルームを会場に低炭素杯など全国イベントで入賞した長岡京市内の3つの取組について学びました。

長岡第四小学校の生ゴミ1t削減の取組を太田伸彦校長と推進員の片山洋子さんから、長岡中央商店街の手作りLED街灯設置の取組を推進員の中小路貴司さんから、神足小学校の地域の里山と連携した薪利用活動について長岡京市役所職員の木本直樹さんから、それぞれ報告してもらいました。

報告のあとは、長岡第四小学校校庭に設置されているグリーンカーテン、雨水タンク、生ゴミコンポスト、そして学校農園を見学しました。そのあと、小学生が手作りで作ったLED街灯を設置した商店街を見学しました。

参加者からは「長岡京市が環境問題にこんなに熱いとは知りませんでした。ほんの少しのきっかけで、子どもたちが変わっていくことが良くわかりました」、「商店街・小学校（先生・児童）、行政（担当者）がそれぞれ熱心な方がおられ、また、上手に巻き込みながらやっておられるのが素晴らしい。私たちも行政や学校をもっと巻き込みながらやっていかなければならないと思った」などの感想が寄せられました。

9月25日（木） 京丹後市研修



京丹後市での研修では、京丹後市内の木質バイオマス利用、京丹後木の駅事業、市民太陽光発電所事業の取組について学びました。

まず、大宮庁舎で、木質バイオマス利用については農林整備課の野村隆文さん、京丹後木の駅プロジェクトについては推進員の味田佳子さん、京丹後市市民太陽光発電所事業については環境バイオマス推進課の宇野浩嗣さんからお話を聞いた後、最初の見学先である丹後グリーンバイオへ。この施設は、京丹後市内から切り出された木材を、チップに加工するため整備された施設で、小学校跡地利用をして今年6月に完成しました。バスの車窓から見えてきたのは、校庭に山積みされた木材の山。工場の中に入れていただき、皮剥ぎをしチップに砕く工程を実際に見学することができました。その後、次の見学地の「市民太陽光発電所大宮サイト」へ向かい、雪の多い地域での設置のノウハウについて学びました。

参加者から「京丹後市は、市・民間業者・NPOの協働が少しずつ実が結んできたのかなという印象です。現地視察を取り入れた研修は、説得力があります」など感想が寄せられました。

各取組については、過去の「うおーみんぐ」に詳しく紹介していますので、ご覧ください。

長岡京市立第四小学校の取組→「うおーみんぐNo.40」p.6
長岡中央商店街の取組→「うおーみんぐNo.41」p.5
長岡京市立神足小学校の取組→「うおーみんぐNo.36」p.5
京丹後市木の駅プロジェクト→「うおーみんぐNo.36」p.6

report

2

2014/9/20,21

省エネ相談所 参加者303名！ -SKYふれあいフェスティバル-

京都市伏見区パルスプラザで行われた「SKYふれあいフェスティバル2014」に、今年も「家庭の省エネ相談所」を出展しました。

月々の光熱費をバッチリ把握し、すでにいろいろな取組をされている方から、普段省エネを全然していないという方まで、相談者の方に合わせたアドバイスをお伝えしました。中には「去年の同じイベントで診断し

てもらったから、1年でどれだけ変わったかなと思って」と来場して下さる方もいらっしゃいました。

アドバイザーを務めてくださったのが「省エネ普及ネット・京都」の皆さんです。研修中の方も含めてフル稼働で、にこやかにアドバイスされていました。

ご年配の方から赤ちゃん連れのお母さん、男性から女性まで



幅広い方がブースに立ち寄りくださり、9/20(土)は159名、9/21(日)は144名、合計303名もの参加者で賑わいました。

イベント啓発グッズ | ご活用下さい！

エコすごろく

7月に開催した第1回京都府地球温暖化防止活動推進員研修で紹介した認定NPO法人きょうとグリーンファンド作成のエコすごろくが、当センターから直接貸出できるようになりました。幼児向けの分かりやすい内容です。イベントにぜひご活用ください。



京都府で HEMS機器を設置して 省エネする人応援します。

この10月より、京都府内でHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）機器を太陽光発電と接続して設置して、自宅の省エネに取り組む人に対する京都府からの補助金制度が始まりました。窓口は、当センターが担当し、補助金受給家庭へ省エネに関する情報を届けることで、省エネ支援も行います。補助金額は、なんと対象機器費（税抜）の半分で最大10万円。国や京都市の補助金との併用も可能です。この10月1日以降に契約し、平成27年3月10日までに申請ができるものが対象となります。これを機会にご家庭のエネルギーを見える化し、自宅のエネルギーをマネジメントしてみませんか？

詳しくは必ずホームページ<http://kcfa.or.jp/hems/>をご確認ください。

お知らせ Information

カエデの紅葉日はいつ？
みんなで調査しよう！

今年で7年目を迎えるカエデ紅葉日調査、今年の秋も龍谷大学の増田先生の協力を得て調査します。昨年9月で舞鶴海洋気象台の生物季節観測が廃止されたので、京都北部のデータが公的機関では得ることができません。京都府北部で協力してくださる方をまだまだ探しています。

毎年ご協力頂いている方は、今年

も同じ標本木を、今年から始める方は、調査マニュアルに従って、「私の観察木」を一本決めていただき、ぜひ調査にご協力下さい。

ちなみに昨年の秋は、一番早い紅葉日の報告は、南丹市美山町の11月7日で、一番遅い報告は京都市の12月8日でした。今年の紅葉はどうか。みなさんの報告お待ちしています。

詳しくは当センターのwebをご覧くださいか、電話にてお問い合わせ下さい

参加者募集 秋の雲ヶ畑で 広葉樹の森林整備と 薪づくり体験



鴨川の源流部にあたる京都市北区雲ヶ畑は昔から京都市内への薪炭の供給地であり、現在も薪や炭の原材料となる広葉樹の森が豊富にあります。当センターでは、雲ヶ畑地域の団体と連携して広葉樹の森の手入れをし、そこから出てくる資源（丸太）を薪として供給するプロジェクトを進めています。この度、広葉樹の森の整備と薪づくりの体験イベントを企画しましたので、鴨川源流の森林整備に関心のある方、雲ヶ畑産の薪に興味のある方はぜひともご参加ください。

日時：10月26日（日）9:10集合15時解散
集合場所：京都市北区雲ヶ畑「出合橋」付近（京都市北区雲ヶ畑中津川町）
活動内容：広葉樹伐採の見学とその後の搬出や薪割りなどの作業体験
主催：京都府地球温暖化防止活動推進センター 他
※詳しくはポータルサイト「まきくも（makikumo.net）」でご確認ください。

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うーみんぐ」

（平成 26 年秋号 平成 26 年 10 月発行（年 4 回発行））

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター
（特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議）
理事長：郡嶋 孝
〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3
TEL：075-803-1128 FAX：075-803-1130
URL：http://www.kcfca.or.jp E-mail：center@kcfca.or.jp
編集：木原浩貴 川手光春 竹花由紀子 西澤浩美 淵上佑樹 浅井薫

法人の活動を支えてくださる会員を募集しています！
年会費 正会員（個人）：2,000 円 正会員（団体）：3,000 円
準会員（個人）：2,000 円 準会員（団体）：3,000 円
賛助会員：10,000 円
詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



この印刷物は、古紙配合率 100%の再生紙に、植物油インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。

